



「高齢者の安全分野」の目標と取組

【目標】

転倒や窒息による不慮の事故の減少

【取組】

① 転倒予防教室の実施

② 住環境の改善

③ 口腔機能低下予防教室の実施

NEW

窒息等に対する
取組を追加しま
した!!

【目標】

虐待や認知症への啓発・理解の促進

【取組】

④ 認知症に関する意識啓発

⑤ 高齢者世帯への見守り活動



データで見る！窒息等による事故けがの状況

① 窒息による死亡者の状況

2019年に窒息により死亡した高齢者(65歳以上)は、**24人**で、不慮の事故(転倒や交通事故など)による死亡原因の中では、転倒・転落(26人)に次いで、**2番目**に多くなっています。(鹿児島市内のデータ)

② 窒息や誤飲・誤嚥による救急搬送の状況

2020年度の高齢者が窒息や誤飲・誤嚥(※)により救急搬送された件数は、**137件**で、一般負傷による搬送件数(3,059件)のうち、**4.5%**を占めています。また、窒息や誤飲・誤嚥の原因となる内容物は、**74件**が、**肉や餅などの食べ物**となっており、全体の**54%**を占めています。(鹿児島市内のデータ)

※ 誤飲(ごいん) …… 食べ物以外のものを誤って飲み込んだ事案

誤嚥(ごえん) …… 食べ物などが誤って気管に入った事案

窒息や誤飲・誤嚥に対する取組

高齢者の安全対策委員会では、窒息等に関する様々なデータを収集・分析し、原因の多くを占めている食べ物の詰まりを防ぐため、飲み込む力、噛む力の維持・向上に取り組むことにしました!!

★取組内容★

【口腔機能低下予防教室】

お達者クラブ等の教室生を対象に、歯科衛生士が講話を行います。講話の中で歯や口の健康と全身の健康との関係や、口の中の細菌による肺炎(誤嚥性肺炎)の予防、口腔ケアの必要性、また、口腔機能を維持するための口腔体操等を行っています。教室は計画に基づいて行っています。

【8020運動】

鹿児島市食生活改善推進員が実施している教室等で8020運動を推進するため、口腔体操を行っています。

※8020運動…少なくとも20本機能する自分の歯があれば、ほとんどの食物をかみ砕くことができ、おいしく食べられることから、“80歳になっても20本以上自分の歯を保ちましょう”という運動。

【連絡先】鹿児島市役所 長寿支援課 在宅支援係 電話:099-216-1267